

## 関係代名詞と関係副詞

関係代名詞とは代名詞と接続詞の役割をする単語のことで、二つの文章を共通する名詞によって接続して一つの文章にする働きがあります。

その共通する名詞が何かによって下記の3種類の関係代名詞を使います。

- which : 共通の名詞が物の場合に使用
- who/whose : 共通の名詞が人の場合に使用
- that : 共通の名詞が物と人の両方に使用可能

この説明だけではわかりづらいと思いますので例文で説明します。

例えば次の二つの英文をご覧ください。

- I have a friend. (私には友達があります。)

- The friend is a famous singer. (その友人は有名な歌手です。)

この二つの文章を関係代名詞で連結して一つの文にしてみましょう。この二つ文には共通の名詞(下線部分)、“a friend (ある友達)”と“the friend (その友達)”が含まれています。The friend の代わりに、人に使用可能な関係代名詞 who を使って連結すると、

- I have a friend who is a famous singer. (私には有名な歌手の友達があります。)

何のために関係代名詞が必要かということ、私たちの周りには『私には友達がいて、その友達は有名な歌手です』のように文章を二つに分けて言う時であれば『私には有名な歌手の友達がいま  
す』と一つにまとめて話す場合もあります。このように一つの文章にまとめて表現したい時のために関係代名詞があるわけです。

では次に関係代名詞の使用方法について、基本的な3つのパターンと例文を紹介します。

パターン1 : 共通の名詞が後に続く文章の主語である場合

- I found a stone. 私は石を見つけました。

- The stone was shining. その石は輝いていました。

=> I found a stone which was shining. 私は輝いている石を見つけました。

パターン2 : 共通の名詞が後に続く文章の目的語である場合

- I bought a book. 私は本を1冊買いました。

- My friend wrote the book. 私の友人がその本を書きました。

=> I bought a book (which) my friend wrote. 私は友人が書いた本を1冊買いました。

\* whichが( )されているのはパターン2では関係代名詞の省略が頻繁にあるからです。

パターン3 : 共通の名詞が後に続く文章の主語の所有格である場合

- I saw a boy. 私はある少年を見ました。

- The boy's T-shirt was very cool. その少年のT-シャツはとてもかっこよかった。

=> I saw a boy whose T-shirt was very cool. 私はT-シャツがとてもかっこいい少年を見ました。

関係代名詞の三つのパターンいかがでしたか? 「パターン2」の関係代名詞の省略は会話で非常によく使われますのでぜひマスターしておいて下さい。他の例文もご参照ください。

- I saw the report you gave me. あなたがくれた報告書を見ましたよ。

- Let's check the plan he suggested. 彼が推奨する案を検討してみましょう。

- Is this the matter he mentioned yesterday? これは昨日彼が話していた件ですか?

- The movie I watched on TV last night was so good. 昨夜テレビで観た映画はとても良かった。

次に関係副詞です。1ページ目で説明した関係代名詞は代名詞と接続詞の役割でしたが関係副詞は副詞と接続詞の役割をする単語のことです。使い方は関係代名詞とほぼ同じで、二つの文章を共通する副詞によって接続して一つの文章にする働きがあります。

ちなみに副詞とは名詞以外(動詞と形容詞)を説明する言葉です。

その共通する副詞が何かによって下記の3種類の関係副詞を使います。

- when : 共通の副詞が「時を表している」場合に使用
- where : 共通の副詞が「場所を表している」場合に使用
- why : 共通の副詞が「理由を表している」場合に使用
- how : 共通の副詞が「方法を表している」場合に使用

まずは例文で”when”と”where”の使い方の基本を理解していきしょう。

### when : 共通の副詞が「時を表している」場合

- I will never forget the day. 私はその日のことを忘れないでしょう。

- We first met on the day. 私たちはその日に初めて会いました。

=> I will never forget the day when we first met. 私たちが初めて会ったその日のことを忘れないでしょう。

解説: ”the day”は名詞ですが“on the day”は「その日に」の意味の副詞(「会った」にいつ?の説明を加えている)です。この副詞によって一つの文章にしています。

ただし下記のように”the day”か”when”のどちらか一方を省略する事もできます。

- I will never forget the day we first met.

- I will never forget when we first met. \* 「初めて会った時のことを忘れない」の意味になりますので要注意

### where : 共通の副詞が「場所を表している」場合

- This is the town. ここがその街です。

- I was born in this town. 私はこの街で生まれました。

=> This is the town where I was born. ここが私の生まれた街です。

解説: “in this town”は「その街で」の意味の副詞(「生まれた」にどこで?の説明を加えている)です。この副詞によって一つの文章にしています。

下記のように”the town”を省略する事も出来ます。

- This is where I was born.

続いて使い方が似ている”why”と”how”の基本的使用方を理解していきしょう。

### why : 共通の副詞が「理由を表している」場合

- Please tell me the reason. 理由を教えてください。

- \*why you are late? あなたはなぜ遅れたのか

直接聞くならWhy are you late? ですがこのように『~の理由を教えてください』と間接的に聞く時は ”why+肯定文”の形にします。

=> Please tell me the reason why you are late. なぜ遅れたのか理由を教えてください。

ただし下記のように”the reason”か”why”のどちらか一方を省略する事も出来ます。

- Please tell me the reason you are late.

- Please tell me why you are late.

**how** : 共通の副詞が「方法を表している」場合

- This is the way. これがその方法です。

- \*how I studied English? 私がどうやって英語を勉強したか

誰かに直接聞くなら How did you study English? ですがこのように『どうやって英語を勉強したか』と間接的に聞く時は "how+肯定文"の形にします。

=> This is \*<the way how> I studied English. これが、私が英語を勉強した方法です。

\* ただし "the way"あるいは"how" のどちらかは必ず省略します。

how以外の関係副詞"where/when/why"は省略も可能でしたが"how"の場合は必ずです  
ので、このように "… the way how …… " は間違いです。

従って下記の文章がこの場合の正しい文となります。

- This is how I studied English.

- This is the way I studied English.

このように関係副詞のhowが使われていたら"the way"が省略されている形だと考えてください。他の例文もご紹介します。

例1) I really appreciate how you helped me. 私はあなたが助けてくれたやり方にとっても感謝しています。

例2) He does not like how you criticized him. 彼は、あなたが彼を批判したやり方を嫌っている。

以上です